

令和5年度
要 望 書

令和5年8月24日

山口県商工会議所連合会

【山口県商工会議所連合会全体の要望】

- (1) 中小・小規模企業活性化に係る支援の充実・強化等について・・・・・・・・・・1
 - ① 県内経済活性化対策について
 - ② 中小・小規模企業の事業承継に対する支援の拡充・強化について
 - ③ 中小・小規模企業活性化に係る支援の充実・強化等について
 - ④ 商工会議所の経営支援事業に対する財政支援について
- (2) 下関北九州道路の早期実現について・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- (3) 山陰道の早期整備について
- (4) 国道2号の整備・促進について・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
 - ① 「下関市才川～山の谷間」の早期整備について
 - ② 台道鑄銭司間4車線化の事業化について
- (5) 港湾計画にある公有水面埋立地への広域最終処分場の新設について
- (6) 山口県内JR線各駅におけるICカードの読み取り機の設置及び県境を越える利用の
利便性向上について

【山口県内各商工会議所の要望】

1. 道路関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

- (1) 王司パーキングエリアへのスマートインターチェンジの整備について
(下関商工会議所)
- (2) 山口宇部小野田連絡道路(宇部湾岸道路)の延伸について
(宇部商工会議所)【新規】
- (3) 県道及び国道の整備促進について(山口商工会議所)
 - ① 県道204号線歩道拡幅、県道21号線の改良について
 - ② 国道9号阿東・宮野区間道路改築について【新規】
- (4) 港湾地域と主要幹線を結ぶ道路整備について(徳山商工会議所)・・・・・・・・・・5
- (5) 国道等の道路整備事業の早期促進について(岩国商工会議所)
 - ① 藤生長野バイパス(岩国市藤生町～岩国市長野間、約7.6km)早期完成
 - ② 岩国大竹道路事業の早期完成(9.8km)・和木町～岩国市山手町(県内分)5.1km
 - ③ 臨港道路新港室の木線(岩国市日の出町～装束町間、約2.9km)早期全線完成
- (6) 岩国柳井間バイパスの建設促進について(岩国・柳井商工会議所)
- (7) 光・下松両市間を結ぶ幹線道路の新設について(光・下松商工会議所)・・・・・・・・6
- (8) 一般国道190号(小野田拡幅)の4車線化について(小野田商工会議所)【新規】
- (9) 高規格道路小郡萩道路(絵堂萩道路)の早期整備について(萩商工会議所)
- (10) 幹線地方道等の整備促進について(萩商工会議所)【再要望】・・・・・・・・・・7
- (11) 柳井玖珂線の安全対策について(柳井商工会議所)

(12) 県道徳山新南陽線の拡張・アクセス道の整備について（新南陽商工会議所）

2. 港湾関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

- (1) 関門航路の整備促進について（下関商工会議所）
- (2) 宇部港港湾整備事業の促進について（宇部商工会議所）・・・・・・・・8
 - ① 宇部港本港航路の増深浚渫について
 - ② 航路及び泊地浚渫並びに埠頭設備の整備について
 - ③ 新規コンテナ航路に係る港湾施設使用料、入港料の減免の継続・・・・・・・・9
 - ④ ソーラスゲート警備体制の見直し【新規】
- (3) 三田尻中関港3号岸壁の延伸と中関港への機能集約について（防府商工会議所）
- (4) 重要港湾小野田港の浚渫について（小野田商工会議所）

3. JR関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

- (1) 新幹線厚狭駅南北連絡通路建設の早期取組みについて（山陽商工会議所）

4. 地域振興・まちづくり関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

- (1) レノファ山口ホームゲーム開催時における維新百年記念公園内駐車場開放及びJR山口線車輛編成の増設について（山口商工会議所）【新規】
- (2) 脱炭素化の推進と産業力強化の両立に向けた支援について（徳山・新南陽商工会議所）
- (3) 東部地域産業振興センター(仮称)の整備について（岩国商工会議所）・・・・・・・・11
- (4) 上関原子力発電所立地の推進について（柳井商工会議所）

【山口県商工会議所連合会全体の要望】

(1) 中小・小規模企業活性化に係る支援の充実・強化等について

① 県内経済活性化対策について【継続】

新型コロナウイルス感染症については感染症法上の取り扱いが5類感染症に変更され、感染拡大も落ち着いた状況となっておりますが、県内経済がこれまでに受けた影響は大きく、また原油価格・原材料価格が高騰し、中小企業・小規模事業者の経営に対する懸念は深刻度を増しています。

事業者の窮状や現場の実情を踏まえ、今後も引き続き、企業の活力を取り戻し、個人の消費を喚起するための支援策を講じていただきますよう、特段のご配慮をお願いします。

② 中小・小規模企業の事業承継に対する支援の拡充・強化について【継続】

民間調査会社の調査によると、令和4年の県内企業の後継者不在率は65.3%と前年より5.7ポイント改善していますが、全国平均57.2%を大きく上回り、依然として全国で8番目の水準となっており、後継者不在が廃業に至る大きな要因となっております。

県におかれては、経営課題診断の実施や事業承継集中支援期間の設定、また、国事業と連携して県内4つの圏域ごとに専任のマネージャーを配置するなど、ご支援をいただいているところですが、事業承継は長期的に時間をかけて対応しなければならない課題であり、引き続き幅広いご支援を賜りますよう、特段のご配慮をお願いします。

③ 中小・小規模企業活性化に係る支援の充実・強化等について【継続】

地域社会の活力の源泉として重要な役割を果たしている中小企業等は、少子高齢化の進行や国際化・デジタル化の進展など経営環境の変化に伴い、経営課題が複雑化・高度化しており、また、人口減少が進む中で、経済規模の縮小による需要の減少など非常に厳しい環境に置かれています。

つきましては、中小・小規模企業が経営基盤を強化し、健全な発展を継続していくことができるよう、経営革新や第二創業支援、新事業展開・国内外の販路開拓支援などの充実・強化、さらにはDX（デジタルトランスフォーメーション）やカーボンニュートラル等、新たな取組み支援について、特段のご配慮をお願いします。

④ 商工会議所の経営支援事業に対する財政支援について【継続】

商工会議所では、小規模事業者に対する創業支援から始まり、販路開拓・経営力強化に係る様々な経営指導や経営計画策定支援、業況悪化時における金融支援や経営安定相談等、経営指導員等の活動は多岐に亘っております。

また、県内商工会議所では「経営発達支援計画」を策定し「伴走型小規模事業者推進

事業」を積極的に活用し、小規模事業者へのきめ細かい支援を積極的に展開しているところでは、

一方で、事業承継や新型コロナウイルス対策等、業務の多様化や業務量の増加に加え、インボイス制度導入等の制度改正対応や中小企業の DX 促進などにも 職員一丸となって取り組んでいるところであり、商工会議所における活動は、会員企業に止まらず広く域内全ての事業者を対象としており、経営指導員等のマンパワー不足は深刻な状況となっています。

つきましては、商工会議所によるきめ細かい経営支援事業の維持・拡大のため、最低でも現状の人員体制の維持を前提として、全国で多くの県が採用している小規模事業者数を基準とした経営指導員等の設置基準や人件費の見直し、各種事業費に係る補助金等の財政支援について特段のご配慮をお願いします。

(2) 下関北九州道路の早期実現について【継続】

下関北九州道路は、下関市・北九州市間の新たな基幹ルートとして両市の広域的な交流・連携を促進するとともに、両市を結ぶ都市間連絡道路として物流の効率化や通勤・観光の利便性の向上など人・物・情報の交流を通じた活力ある関門地域経済圏の確立に不可欠なものです。

また、近年頻発している大規模災害時にも機能する信頼性の高い道路網の構築、さらには橋梁インフラによる下関・北九州地域の一体的な発展を図るためにも早期整備が求められています。

都市計画・環境アセスメントの手続きが進められる中、令和4年3月には下関市彦島地区で実現期成同盟会が設立されるなど市民の期待も高まっているところです。

つきましては、引き続き下関北九州道路の早期実現に向け、関係機関に働き掛けられますよう特段のご配慮をお願いします。

(3) 山陰道の早期整備について【継続】

山陰道につきましては、「俵山・豊田道路」、「木与防災」の改良工事が進み、令和3年度に「大井・萩道路」、「益田・田万川道路」が事業着手され、今年度は「三隅・長門道路」が事業化されるなど着実に整備が進められているところです。

しかしながら、現在の県内の整備は、開通区間が 20 kmであり、事業中区間を含めても 63 kmと極端に低い状況となっています。

道路は繋がってこそ、その機能・効力が発揮されるものであり、山陰道は観光や広域救急医療への対応、更には、近年頻発する大規模自然災害における緊急輸送や代替道路としても期待されるところです。

つきましては、事業化区間の早期開通及び「豊田ー下関」間を含め、未着手区間の早

期事業化について、引き続き特段のご配慮をお願いします。

(4) 国道2号の整備・促進について

①「下関市才川～山の谷間」の早期整備について【継続】

一般国道2号は直轄国道として、下関市の道路網の中核を形成するとともに、本州と九州を結ぶ極めて重要な路線ですが、山の谷交差点から才川交差点を中心に慢性的に交通渋滞が発生しております。

つきましては、印内交差点の改良など現在整備中の区間の早期完成と、長府トンネルを含む山の谷交差点から才川交差点までの残る区間の早期事業化について、引き続きご配慮をお願いします。

②台道鑄銭司間4車線化の事業化について【継続】

一般国道2号の台道鑄銭司間の4車線化及び歩道の設置について、防府商工会議所会頭を会長とする一般国道2号防府山口間整備促進民間期成同盟会を設立、昨年7月には山口県国道2号整備促進期成同盟会山防部会と総決起大会を開催したところです。本区間は山口・防府両市の物流の大動脈となっているだけでなく、市街地の渋滞緩和、交通安全を確保するためにも、早期の事業化をお願いします。

(5) 港湾計画にある公有水面埋立地への広域最終処分場の新設について【継続】

宇部市東見初地区と周南市新南陽地区の公有水面埋立地に設置された産業廃棄物の広域最終処分場は、既存施設の延命化策を講じていただいているところですが、航路浚渫と一体的な整備が必要です。

つきましては、県全域の最終処分需要量等を勘案し、宇部港、徳山下松港等にある公有水面埋立地への後継の広域最終処分場の設置に引き続き特段のご配慮をお願いします。

(6) 山口県内JR線各駅におけるICカードの読み取り機の設置及び県境を越える利用の利便性向上について【継続】

ICOCAをはじめとする交通系ICカードは、本年4月より山口県内の山陽本線全線で利用可能となり利便性が向上しましたが、一方で、JR運営会社の異なる新下関～小倉間では1枚のICカードでの決済ができない等の課題も残っています。

つきましては、通勤や観光などで北九州との県境を越える利用者の利便性向上に加え、ウイルス感染症対策や、デジタル化の推進を図る上からも、未だ利用ができない山陰線をはじめとした山口県内全域で利用できるよう、JR各社への働き掛けについて引き続きご配慮をお願いします。

【山口県内各商工会議所の要望】

1. 道路関係

(1) 王司パーキングエリアへのスマートインターチェンジの整備について

(下関商工会議所) 【継続】

下関市内を走る中国自動車道には、下関と小月の2ヶ所にインターチェンジ（IC）が設置され、両ICの距離は約15.5kmありますが、小月ICから約4.5km離れたところにある王司パーキングエリアにスマートインターチェンジが設置されると、長府東部地区や清末地区、形山・石原地区等の住民や企業にとっては高速道路の利便性に加え、国道等の渋滞緩和を図ることができ、併せて、南海トラフ巨大地震による津波等の災害時のリスクヘッジにも繋がると考えられます。

つきましては、王司パーキングエリアへのスマートインターチェンジの整備について、国や西日本高速道路株式会社など関係機関との協議・調整を図られますよう引き続き特段のご配慮をお願いします。

(2) 山口宇部小野田連絡道路（宇部湾岸道路）の延伸について

(宇部商工会議所) 【新規】

都市拠点形成や主要施設へのアクセス強化、交通の円滑化等に資する道路を目指し平成6年から山口県が地域高規格道路「山口宇部小野田連絡道路」の一部として整備推進されております宇部湾岸道路は、国道190号の藤山交差点、東割交差点、西割交差点等の渋滞緩和に効果を発揮しております。しかしながら、諸般の事情により西中町ICまでで整備が中断しておりますので、更なる山口宇部空港、宇部港や小野田港などの物流拠点施設のアクセス強化にむけ、当初計画にあります新町ICまでの延伸にご配慮をお願いします。

(3) 県道及び国道の整備促進について（山口商工会議所）

① 県道204号線歩道拡幅、県道21号線の改良について【継続】

山口都市核における中心市街地エリアは、生活に必要な機能が集積し、コンパクトなまちづくりが進んでおり、さらなる人口集積にむけて山口市では、亀山周辺・中心商店街におけるウォークアブルな都心形成に取り組まれております。そのためにも、早間田交差点と山口市民会館の地下道撤去による県道204号線をまたいだ動線の分断解消や歩道拡幅（車道削減）によりロードサイドを確保し、県道204号線を第2のパークロードになるようなまちづくりが必要です。

さらに、山口県農業試験場の移転に伴い、慢性的な交通渋滞の緩和のための県道21号線の改良に向けての早期事業化について特段のご配慮をお願いします。

②国道9号阿東・宮野区間道路改築について【新規】

国道9号山口市阿東・山口市宮野区間は、本区間のトンネルや橋梁の老朽化などにより、物流路線及び防災対策が喫緊の課題となっています。この区間の道路改築について特段の配慮をお願いいたします。

(4) 港湾地域と主要幹線を結ぶ道路整備について（徳山商工会議所）【継続】

徳山下松港は、南海トラフ地震のような大規模災害発生時の拠点港として耐震強化岸壁が整備されましたが、港が整備される一方、臨海部から幹線道路や高速道路への陸路のアクセスは不十分で、さらに東西を結ぶ産業道路や主要県道も慢性的な交通渋滞が発生しており、大地震等の災害が発生した際には、物資輸送に大きな支障をきたすこととなります。

また、平時においても、市内幹線道路（徳山東および西インターチェンジ）と港湾地域のアクセスにおいては、道路の幅員や橋の強度が不十分なため、大型車の通行可能な経路が限定され、渋滞や遠回りが生じています。

この問題を根本的に解決するためには、徳山駅の高架化（JR山陽線徳山駅周辺の連続立体交差）もしくは、産業道路の東進や海上を橋梁で結ぶ新たなルートが必要と考えます。

不可能な場合は、大型車両に対応した道路（アンダーパス）や橋の整備・改修について考える必要があり、防災基盤の強化と産業の効率化のためにも、港湾地域と主要幹線を強靱に結ぶ道路の整備について、ご検討をお願いします。

(5) 国道等の道路整備事業の早期促進について（岩国商工会議所）【継続】

岩国錦帯橋空港、愛宕山地域の岩国医療センター及び防災機能を備えた多目的広場や運動施設が供用開始され、緊急車両の通過など地域住民の大きな支障とならないよう、交通機能を補完する代替え路線は最低限必要と思われれます。

つきましては、幹線・生活道路として渋滞の緩和措置はもちろん、災害に強い道路のダブルネットワークの必要性から、早期完成に向けての取組みをお願いします。

①藤生長野バイパス（岩国市藤生町～岩国市長野間、約7.6km）早期完成

②岩国大竹道路事業の早期完成（9.8 km）・和木町～岩国市山手町（県内分）5.1 km

③臨港道路新港室の木線（岩国市日の出町～装束町間、約2.9km）早期全線完成

(6) 岩国柳井間バイパスの建設促進について（岩国・柳井商工会議所）【継続】

一般国道188号は、岩国・柳井地域における唯一の主要幹線道路であり、近年の異常気象等による災害時の代替え路線もないことから、交通機能への重大な影響も懸念されております。

こうした中、経済の広域化に向け岩国錦帯橋空港の利便性は一段と高まっており、岩国柳井間バイパスは都市間のネットワークの充実・強化に大きな波及効果があり、産業・経済の発展や特に地域住民の安心・安全にも必要なものと考えております。

つきましては、岩国南バイパスから柳井までの整備が早急に実現するよう特段のご配慮をお願いします。

(7) 光・下松両市間を結ぶ幹線道路の新設について（光・下松商工会議所）【継続】

平成30年7月の西日本豪雨の教訓を踏まえ、特に重点的に取り組む必要がある代替道路は、光市と下松市の間を結ぶ新たな幹線道路です。

海岸沿いにある国道188号が、光市と下松市の両市街地間を結ぶ唯一の主要幹線道路となっていますが、自然災害に対して脆弱であることや、迂回道路が遠方になることなど、ひとたび通行止めになれば、通勤や買い物、救急搬送などの市民生活はもとより、人や物資の輸送・運搬などの企業活動、ひいては周南地域全体の経済活動にも重大な影響を及ぼします。

つきましては、両市間を円滑かつ強靱に結び、周南地域全体の発展にも資する新たな幹線道路の整備について、関係機関への強い働き掛けをお願いします。

(8) 一般国道190号（小野田拡幅）の4車線化について（小野田商工会議所）【新規】

一般国道190号は、本市を東西に横断し、市内の幹線道路と結節する骨格路線であることはもとより、宇部・小野田広域圏、さらには下関を結ぶ重要路線として、地域経済の発展に大きく寄与しています。

さらには、災害医療拠点に指定されている山口労災病院と市街地を結ぶ、労災病院入口交差点から新生町交差点までは、すでに道路用地として確保されており、この間の1.9km区間が4車線化になることで、地域住民、地域経済の利便性向上だけでなく、より災害に強い防災道路網の構築が図れます。

ついては、同路線の早期完成について、関係機関への働きかけなど特段のご配慮をお願いします。

(9) 高規格道路小郡萩道路（絵堂萩道路）の早期整備について（萩商工会議所）【継続】

小郡萩道路は、中国縦貫自動車道と連結し、萩市までを結ぶ延長約30kmの道路です。山口宇部空港やJR新山口駅を始めとした高速交通拠点や高度医療機関等へのアクセス時間の短縮、物流の効率化による農林水産資源の活用、観光交流の振興、広域観光ネットワークの形成等、地域経済の活性化に必要不可欠の道路ですので、絵堂～萩間（15km）の早期完成について特段のご配慮をお願いします。

(10) 幹線地方道等の整備促進について（萩商工会議所）【再要望】

① 県道萩川上線（上野～川上地域）の早期整備について

地方交通体系の整備と産業基盤の整備を図るため、重要幹線道路である県道萩川上線（上野～川上地域）の早期整備について、ご配慮をお願いします。

② 県道11号・萩篠生線（萩市松本市～中ノ倉地区）の歩道の早期整備について

萩市の松陰神社北交差点から長山団地入口付近までの歩道（1.7km）は、通学路であるにも関わらず幅員が狭いことに加え、段差が多く歩行者等の安全が確保されておらず、早期整備が強く望まれています。特段のご配慮をお願いします。

(11) 柳井玖珂線の安全対策について（柳井商工会議所）【継続】

柳井広域圏と玖珂インターや新岩国駅とを結ぶ、主要な道路である県道柳井玖珂線については、既に全線が改良済みとされていますが、現実には急な勾配やカーブも多く大型車の離合が困難な場所もあるなどの課題を抱えています。

企業誘致が進む中、地域産業の活性化や観光振興面においても、障害となっていると思われま

す。つきましては、平成30年7月に発生した道路の崩落が、他の危険個所でも繰り返しかつ起こる可能性があるため、上馬皿から大ノ口間のトンネル化も含め、柳井・玖珂間を高規格道路として整備促進されるようお願いいたします。

併せて、横断歩道での大型車と歩行者の危険を除去するためにも、東条大橋から上馬皿まで直線で繋げる路線の検討をお願いします。

(12) 県道徳山新南陽線の拡張・アクセス道の整備について（新南陽商工会議所）【継続】

県道徳山新南陽線は、物流道路としての機能も有しており、地域経済を牽引する周南コンビナートを支える重要な路線です。

近年「古川跨線橋」の架け替え工事等の影響や通勤時間帯の渋滞等だけでなく慢性的な渋滞による物流の停滞、救急車や消防車などの緊急車両の通行が困難になる等、周南コンビナートをはじめとする地域の損失は計り知れません。

県道徳山新南陽線の拡張やアクセス道の整備による渋滞への緩和対策について、特段のご配慮をお願いします。

2. 港湾関係

(1) 関門航路の整備促進について（下関商工会議所）【継続】

関門航路は、我が国と東アジアを結ぶ国際コンテナ航路として、また、国内の各港湾を結ぶ国内幹線航路として、数多くの船舶が通航し、我が国の海上貿易において重要な役割を果たしています。

しかしながら、近年では、海上輸送の効率化に伴う船舶の大型化が進む中で、これに対応した十分な水深が整備されていないため通航船舶の安全性が確保できず、一部大型船舶の九州南岸への迂回や鉱石船の喫水調整を余儀なくされています。

つきましては、航路全区間における水深 14m化の早期整備に向け、関係機関への働き掛けなど特段のご配慮をお願いします。

(2) 宇部港港湾整備事業の促進について（宇部商工会議所）

①宇部港本港航路の増深浚渫について【継続】

宇部港本港航路については、-13m増深浚渫工事完工が令和4年度と伺っておりますが、海図への工事結果の早期反映と整備戴きました本港航路-13m水深の計画的な維持管理や埋没対策の検討・早期実施について、特段のご配慮をお願いします。

また、令和2年度、宇部港港湾計画に位置付けて戴いた水深-16m公共埠頭の新設並びに本港航路-16m増深工事の早期着工について、関係機関への働き掛けなどの特段のご配慮をお願いします。

②航路及び泊地浚渫並びに埠頭設備の整備について【継続】

民間管理の宇部西航路及び工業運河・栄川運河航路（泊地含む）は、危険物船が航行しており、宇部海上保安署から計画的維持浚渫の指導を強く受けていますが、民間だけでは充足困難な状況です。

宇部港は平成15年リサイクルポートに指定されており、同航路および泊地は7社が利用する公共性の高い施設かつ多くの企業が原料の受入れに利用する重要性を踏まえ、地域産業育成としてご支援を賜りますとともに次記事項につきましても、特段のご配慮をお願いします。

- ・ 沖の山、芝中、新町公共岸壁前面泊地浚渫工事およびエプロン補修工事の早期実施
- ・ 沖の山公共岸壁補修工事の早期実現並びに岸壁延伸および新築工事中の県営上屋早期供用開始、
- ・ コンテナ荷役設備の新規追加設置（芝中西地区）
- ・ 倉庫(上屋)新規設置（芝中西地区）
- ・ 危険物（第四類第一石油類）コンテナ蔵置場増設（芝中西地区）
- ・ 後背地未舗装地のコンテナ蔵置場および野積場整備（芝中西地区）
- ・ 既存舗装地の舗装補修（芝中西地区）
- ・ 芝中岸壁のコンテナ荷役・サイロ建設
- ・ 芝中1号岸壁のエプロン補修
- ・ 取扱量増加により狭隘化が懸念される芝中西埠頭の拡幅
- ・ 宇部東航路及び芝中東埠頭前面泊地浚渫

- ・国際港としての屋内待合室整備の実施
- ・公共ふ頭への船舶専用ゴミ集積所の設置
- ・民有護岸施設への老朽化対策補助

③新規コンテナ航路に係る港湾施設使用料、入港料の減免の継続【継続】

新規コンテナ航路のサービス開設等宇部港の活用促進を検討しておりますので、港湾施設使用料及び入港料の減免継続に引き続き特段のご配慮をお願いします。

④ソーラスゲート警備体制の見直し【新規】

現状のソーラスゲートの警備体制では、警備員配置が利用者負担となっており、荷役の効率化に支障をきたすことがありますので、ソーラスふ頭における保安規定・警備体制の見直しや機械警備の導入等、民間利用者の費用負担軽減に特段のご配慮をお願いします。

(3) 三田尻中関港3号岸壁の延伸と中関港への機能集約について（防府商工会議所）

【継続】

中関港3号岸壁は、主に自動車運搬船の積出を中心に利用されています。海上輸送の分野においては積載量増大のため船舶が大型化しています。防府テクノタウンをはじめ県央部への企業進出も進み、今後、船舶輸送ユーザーの増加が見込まれることから、三田尻中関3号岸壁の延伸と業務効率化のため、港務所や税関といった機能を中関港に集約していただくようお願いします。

(4) 重要港湾小野田港の浚渫について（小野田商工会議所）【継続】

小野田港は、小野田湾岸道路や東沖地区に公共ふ頭が整備されるなど、取扱貨物量の増加が期待されることから、港湾機能の更なる拡充整備が望まれています。

港湾施設の中でも、特に航路及び泊地は、船舶が停泊、航行する上で重要な施設であり、平成23、24年度に本港地区の浚渫を実施していただいておりますが、近年本航路や泊地の土砂堆積が顕著となっており、水深が浅く船舶の接岸、離岸が困難な状況ということが散見されていきました。一昨年も輸出船が出港できず潮待ち後、出港したという事案も発生しております。場合によっては、セーフティバースと判断できず、本港への接岸に難色を示す船舶会社が現れることも予測されます。

小野田港を利用する企業で構成する小野田港港湾整備促進協議会や小野田港運協会などから、浚渫を望む声が大きくなっております。

そのような中で、県は東沖地区の泊地浚渫に本年度から着手されますが、通行船舶の

安全確保のために、早期完工に向けて特段のご配慮をお願いします。

3. JR関係

(1) 新幹線厚狭駅南北連絡通路建設の早期取組みについて（山陽商工会議所）【継続】

新幹線厚狭駅周辺地区は、JR山陽新幹線・JR山陽本線とで南北に分断された状況が今日まで続いております。駅北部地区では公共施設整備やホテル進出等により旧市街地が活性化し、駅南部地区では土地区画整理事業後の点在する広い未利用地の一部で住宅・アパート、保育園、介護・医療施設の建設が進み、お陰様で、駅北・駅南とも明るさが見え始めております。

しかしながら、高齢者の急増や車椅子での駅南北移動等の対策は急を要する状況であり、さらには、駅北・駅南の一体性を強化して都市核を形成する上で、駅の南北を繋ぐ連絡通路建設は正念場の時期に来ていると考えます。10年以上続けて要望しております新幹線厚狭駅南北連絡通路の早期の設置について特段のご支援をお願いします。

4. 地域振興・まちづくり関係

(1) レノファ山口ホームゲーム開催時における維新百年記念公園内駐車場開放及びJR山口線車輛編成の増設について（山口商工会議所）【新規】

山口県全市町をホームタウンとし、年間観客動員数平均6,000人をめざすレノファ山口は、地域のスポーツ振興のみならず地域経済へ大きな波及効果をもたらしています。

地域企業のスポンサーやサポーターは、レノファ山口のJ1昇格に向けて、地域ぐるみで応援しているところです。

しかしながら、山口市にあるホームスタジアム「維新みらいふスタジアム」において行われるホームゲームでは、県内外からの自家用車での来場者は、スタジアム横の駐車場（有料）が1カ所のみのため駐車場確保が困難な状況です。

つきましては、来場者の交通アクセスの利便性向上のため、維新百年記念公園内の駐車場の開放について特段のご配慮をお願いします。

また、主催者は、交通渋滞緩和のため交通アクセスにはできるだけ公共交通機関を利用するように案内をされておられますが、試合当日の開催時間に合わせたJR山口線車輛編成の増設についてJR西日本へ働きかけていただきますよう特段のご配慮をお願いします。

(2) 脱炭素化の推進と産業力強化の両立に向けた支援について

（徳山・新南陽商工会議所）【継続】

地球温暖化の進行が世界共通の課題となる中、産学官・地域が一体となって「脱炭素

社会の実現」に向けた取り組みを進めることが必要です。

中でも周南市の主要産業であるコンビナート企業は、産業競争力の維持・強化とカーボンニュートラルの両立に向け「周南コンビナート脱炭素推進協議会」を設立し、「周南カーボンニュートラルコンビナート構想」及び「周南コンビナートカーボンニュートラルロードマップ」を策定するとともに、国の補助採択を受け、燃料アンモニアのサプライチェーン構築を目指した共用インフラの整備検討を開始するなど、脱炭素化に向け努力を続けています。

産業分野の中でも、特に温室効果ガスの排出割合が大きいコンビナート企業の取り組みに重点的に強力な支援をお願いします。

また、コンビナート企業の個々の努力だけでなく、地域産業界全体で脱炭素化と競争力強化へ取り組むことが必要であり、将来を見据えたインフラの検討・整備、及びCO₂削減の取り組みに対する積極的なご支援をお願いします。

- ①CO₂削減に資する省エネ化や設備導入に対する支援
- ②脱炭素に資する新技術の研究開発・導入及び製品・サービスの提供に対する支援
- ③カーボンニュートラルポート形成に向けた国との連携と徳山・新南陽地区の港湾整備
- ④コンビナート企業がカーボンニュートラルの新たな取組を進める際に障壁となる規制の緩和
- ⑤企業が商用車・社用車等に次世代自動車を導入することに対する支援

(3) 東部地域産業振興センター(仮称)の整備について (岩国商工会議所) 【継続】

岩国地域の経済界は、基地を抱え長年にわたり国防に協力してきましたが、市街地の約4分の1を占める米軍岩国基地により当地域の産業は投資環境が整わず、これが空洞化現象や地域活力の低下に繋がり、地域産業の担い手となる企業の育成や発展に支障をきたし、地域一体となった拠点施設の整備が望まれております。

こうした中、県において「東部地域産業振興センター(仮称)整備基本計画」が策定されたところですが、最新のデジタル技術活用支援や企業の経営及び人材育成をはじめ様々な支援機能を構築し、県東部地域経済の活性化や創業・事業創出に繋がる拠点施設の整備に向け、さらには既存の支援機関との連携を図れるなど、引き続き特段のご配慮をお願いします。

(4) 上関原子力発電所立地の推進について (柳井商工会議所) 【継続】

令和3年に閣議決定された「第6次エネルギー基本計画」において、原子力発電は「安全性の確保を大前提に、長期的なエネルギー需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源」との認識が引き続き示されるとともに、「2050年カーボンニュートラルを実現するために、原子力については、国民からの信頼確保に努め、安全性の確保を大前提

に、必要な規模を持続的に活用していく」として、脱炭素化に向けた原子力発電への期待が示されています。

ロシアによるウクライナ侵攻以降、燃料費の高騰に伴い電気料金も高騰し、国民生活、地域経済に甚大な影響を及ぼし、バランスのとれた電源構成の重要性が痛感される中、令和5年2月に閣議決定された「GX 実現に向けた基本方針」において、「エネルギー基本計画を踏まえて原子力を活用していく」との方針が示され、次世代革新炉の開発・建設も含めて、改めて原子力発電の必要性が注目されています。

これらを踏まえると、国内唯一の新規立地地点である上関原子力発電所の開発は一層重要であると考えられ、国においては、リプレースに加えて新增設についても、さらなる検討と国民への丁寧な説明をお願いします。

県においては、引き続き、国のエネルギー政策や地元上関町の政策選択を尊重するとともに基本姿勢を堅持し、今後、上関原子力発電所の本体工事着工等の見通しが得られる状況になれば、県民生活に直結した電力の安定供給や雇用創出等、地域活性化に資する上関原子力発電所が確実に前進できるよう、前向きに取り組んでいただきますようお願いいたします。